

学修目標

歯冠修復技工学において、解剖学的な基本形態と機能的な補綴装置等を製作するために必要な知識について学修する。

- 教科書：最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学（医歯薬出版）
- 参考資料：プリント配付
- 授業時間：金曜日 18：50～19：35
- オフィスアワー：木内 浩子 (kiuchi.hiroko@nihon-u.ac.jp) 金曜日 16：00～17：00
- 成績評価：定期試験(80%)，平常試験(20%) 前期と後期の合計で評価する。平常試験後に解説を行いフィードバックする。
- 注意事項：必ず教科書を持参し，必要事項はノートに記録すること。
- 授業方法：板書，スライドならびにプリントを使用して講義を行う。第8・12回に平常試験を行う。
- 準備学習：事前に講義内容を教科書で確認しておくこと。平常試験を行うので復習すること。
- 準備学習時間：予習と復習それぞれに講義時間と同等の時間を充てること。
- 実務経験：木内浩子:歯科診療所で主任歯科技工士を務めた臨床経験を基に歯科技工士の立場から，実際の補綴装置を製作する時の作業工程や各作業の必要性など講義していく。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第1回10月18日 木内 浩子	1. クラウンとブリッジの製作 1) テンポラリークラウン，ブリッジ (教) pp. 58-61	・ テンポラリークラウン，ブリッジの意義と目的と製法を説明でき，種類と使用材料を列挙できる。
第2回10月25日 木内 浩子	1. クラウンとブリッジの製作 2) 色調選択 (教) pp. 62-64	・ シェードマッチングの要件と方法を列挙できる。
第3回11月1日 木内 浩子	1. クラウンとブリッジの製作 3) 作業用模型 (教) pp. 64-71	・ 作業用模型の意義と目的，製法を説明できる。 ・ 作業用模型の構成と要件，種類を列挙できる。 ・ 歯型の辺縁形態を説明できる。
第4回11月8日 木内 浩子	1. クラウンとブリッジの製作 4) 咬合器装着	・ クラウンに与える咬合を説明できる。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
	5) クラウンに与える咬合 (教) pp. 71-76	
第5回 11月15日 木内 浩子	1. クラウンとブリッジの製作 6) ワックスアップ (教) pp. 77-83	<ul style="list-style-type: none"> ワックスアップの種類と方法を説明できる。
第6回 11月22日 木内 浩子	1. クラウンとブリッジの製作 7) 埋没 8) 鑄造作業 (教) pp. 83-89	<ul style="list-style-type: none"> 全部金属冠の埋没と鑄造作業を説明できる。
第7回 11月29日 木内 浩子	1. クラウンとブリッジの製作 9) 連結法 10) 調整 11) 研磨 12) クラウンの不具合の原因 (教) pp. 90-100	<ul style="list-style-type: none"> 研磨の意義と目的を説明できる。 研磨法を説明できる。 クラウンの不具合の原因について説明できる。
第8回 12月6日 木内 浩子	1. クラウンとブリッジの製作まとめ (教) pp. 55-100 「平常試験」① (10%)	<ul style="list-style-type: none"> クラウンとブリッジの製作について総合的に学ぶ。 第1回～8回までの講義内容を再確認し、理解度を深めることができる。
第9回 12月13日 木内 浩子	2. 部分被覆冠 1) インレー, アンレー (教) pp. 115-117	<ul style="list-style-type: none"> 部分被覆冠の種類を列挙できる。 意義, 特徴および適応用途を説明できる。 材料の違いによる製作工程を説明できる。
第10回 12月20日 木内 浩子	2. 部分被覆冠 2) 窩洞形態と構成要素 (教) pp. 121-121	<ul style="list-style-type: none"> 窩洞形態と構成要素を列挙できる。
第11回 1月10日 木内 浩子	2. 部分被覆冠 3) 3/4 クラウン, 4/5 クラウン, 7/8 クラウン 4) プロキシマルハーフクラウン (教) pp. 121-134	<ul style="list-style-type: none"> 3/4, 4/5, 7/8, プロキシマルハーフクラウンの意義, 特徴および適応用途を説明できる。 支台歯形態を解釈できる。
第12回 1月17日 木内 浩子	2. 部分被覆冠 5) ピンレッジ	<ul style="list-style-type: none"> ピンレッジ, ラミネートベニアの意義, 特徴および適応用途を説明できる。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
	6) ラミネートベニア (教) pp. 124-128	<ul style="list-style-type: none"> • 支台歯形態を解釈できる。
第13回 1月24日 木内 浩子	2. 部分被覆冠まとめ (教) pp. 115-128 「平常試験」② (10%)	<ul style="list-style-type: none"> • 部分被覆冠について総合的に学ぶ。 • 第9回～13回までの講義内容を再確認し、理解度を深めることができる。
第14回 1月31日 木内 浩子	5. CAD/CAM システム 1) 構成 2) 利点と欠点 3) 使用材料 (教) pp. 172-175	<ul style="list-style-type: none"> • CAD/CAM システムの構成を説明できる。 • CAD/CAM システムの利点と欠点を列挙できる。 • CAD/CAM システムで使用される材料について説明できる。
第15回 2月7日 木内 浩子	後期の復習 (教) pp. 115-175	<ul style="list-style-type: none"> • 後期の講義内容を再確認し理解度を確認できる。